

第 79 回愛鳥週間

令和 7 年度 野生生物保護功労者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞 (1 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
埼玉県	う え だ けい す け 上 田 恵 介	<p>1) 1967 年頃から日本野鳥の会大阪支部の探鳥会リーダーを務め、支部幹事として支部運営に関わった。1968 年大阪南港の野鳥を守る会を支部の若手メンバーと共に立ち上げ、南港野鳥園の建設の実現に貢献した。1971 年には大阪自然環境保全協会の設立に関わった。また、大阪支部の代表（幹事長）として日本野鳥の会の全国支部長会議に参加し野鳥保護と会の運営に関わってきた。</p> <p>2) さらに、日本野鳥の会の会報『野鳥』誌の編集に関わり、東大の樋口広芳氏と共に会の研究誌「Strix」の編集を任せ、自然保護に関する多くのテーマを企画して科学的知見の蓄積に大きな貢献があったほか、野鳥の会の評議員として、また、副会長や会長として会の指導に当たり、これらを通じて鳥に関する科学的知識及び保護思想を普及した。</p> <p>3) 環境省の風力発電、オオタカ保護、鳥類標識調査、モニタリングサイト 1000 海鳥調査、鉛弾汚染問題など多くの委員会において委員または座長として関わることにより、鳥類保護行政にも貢献した。</p> <p>4) 全国 10 か所以上の風力発電施設の設置に関して、有識者として検討委員会に加わり、カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの両立に貢献した。また、福島原発事故の直後から、福島に入り、放射能汚染の鳥への影響に関する研究に尽力した。</p> <p>5) 日本鳥学会会長を務めたほか、立教大学在任中の 27 年間に多くの若手鳥類学者を輩出し、鳥類保護の分野の研究者育成に貢献した。現在、全国多くの大学や研究所で門下生が活躍している。</p>

2. 環境大臣賞 (4 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	ながたに 永谷 ミツ	1) 北海道内に生息する絶滅危惧種であるタンチョウの保護のため、生息環境の保全活動や、北海道が実施している道内のタンチョウの越冬分布調査への協力、さらには北海道タンチョウ給餌人として給餌事業に従事するなど、給餌人としての 10 年を含め長年タンチョウの保護活動に取り組み、個体数の大幅な回復に貢献した。
北海道	わたぬき ゆたか 綿貫 豊	1) レジームシフト（10 年スケールの海洋環境変動）に対応した海鳥の餌の変化や繁殖成績への影響を研究し、特に天売島でウトウやウミネコの研究を継続して行い、天売島の海鳥の生態と繁殖状況の把握に貢献した。 2) さらに、国立極地研究所や海外の研究機関と共同で、バイオロギング技術を用いて海鳥の海上での行動を研究しこの方面での先駆的業績をあげた。 3) 2010 年に「海鳥の行動と生態」、2022 年に「海鳥と地球と人間」を執筆し、海鳥の基礎情報提供や普及啓発に寄与した。
茨城県	おざき きよあき 尾崎 清明	1) 環境省のトキ保護増殖プロジェクトに初期段階から参画し、2013 年以降はトキ野生復帰検討会の座長を担い、トキの個体数回復や野生復帰事業の進展に貢献した。 2) アホウドリ保護増殖事業に携わり、2006 年から始まった小笠原諸島での新繁殖地形成への順調な進展に貢献した。 3) 長年ヤンバルクイナの保護増殖事業に関わり、個体数調査や野生復帰技術確立等、保全事業へ科学的貢献を行った。 4) 標識調査により科学的基礎データを長期にわたり収集し、鳥類保護行政はじめ各方面に活用された。
鹿児島県	たつごうちょうりつ 龍郷町立 たつごうしょうがっこう 龍郷小学校	1) 「南洲翁(西郷隆盛)が愛した奄美・龍郷の人、自然、文化を未来世代に繋ぐ」をテーマに、アサギマダラ・サシバの生態や「渡り」の探究学習、専門家の出前授業、観察会、自然環境保全の啓発活動を行ってきた。 2) GPS 等を活用したサシバの活動範囲や渡りの調査、アサギマダラのマーキング調査や、サシバの繁殖地にある長野県木島平村立木島平小学校やツルの越冬地の鹿児島県出水市立鶴荘学園との交流学習や観察会を実施し、渡り鳥等が生息できる環境保全の重要性を発信してきた。 3) これらの活動を日本鳥類保護連盟、日本野鳥の会、アジア猛禽類ネットワーク、クマタカ生態研究グループ、岩手大学農学部森林科学科、奄美野鳥の会、NHK 長野放送局、NHK エンタープライズなどと協働で取り組んでいる。

3. 文部科学大臣賞（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
新潟県	さどしりつ 佐渡市立 ぎょうやしやうがっこう 行谷小学校	1) 1965年に校内でトキを飼育したことをきっかけに、全校でトキの保護活動に取り組んでいる。「トキ学習」を通じてトキに関する知識を深め、地域の人々と協力して餌場環境整備や保護活動を実施。「トキ解説員」として観光客にトキの生態や保護活動を説明している。 2) トキの保護活動を開始したことをきっかけに、毎年水辺の生きもの調査を実施してトキの餌場環境の把握に貢献してきた。こうした成果も認められ、2008年には秋篠宮同妃両殿下（当時）が校内のビオトープを見学された。 3) 中国や韓国の子どもたちとも交流し、2024年には中国在新潟総領事館主催の記念式典で「トキ解説員」を中国側の出席者に披露し、日本と中国の友好交流に貢献した。
福岡県	ふくおか だいいち こうとう 福岡第一高等 がっこう だいいちやっか 学校・第一薬科 だいがく ふぞく こうとう 大学付属高等 がっこう 学校	1) 平成31年に水中生物研究会を設立し、希少生物の保護を理念に福岡・九州の希少生物の生態や生息状況、生息環境等を調査研究してきた。発見した希少生物の一部は学校内の研究室で保護し、生態調査を実施してきた。 2) 研究会の調査で発見された新たな種や生息域のデータを県や市町村に情報提供し、県のレッドデータブック改訂の際に新たなデータとして採用され、貴重な情報を提供した。 3) 宮古島における国内外来種「ヤエヤマセマルハコガメ」の生息状況の現地調査、個体の譲受、啓発活動を行うなど希少生物の保全や外来種問題について、テレビやラジオ、新聞等を通して発表をした。また福岡市科学館での発表や出前授業などを通じて、野生生物保護に向けて市民の意識改革に繋げる活動を実施してきた。

4. 林野庁長官感謝状（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
群馬県	<small>とみおか まさひろ</small> 富岡 賢洋	1) 群馬県地球温暖化防止活動推進員、群馬県環境アドバイザー、群馬県環境審議会委員、前橋市鳥獣被害対策実施隊員として、県や市町村と連携した環境活動を実施している。 2) 前橋市鳥獣被害対策実施隊員として害獣捕獲活動に従事している。また猛禽類生息地及び湿地の保全活動や、群馬県のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に指定されている、サクラソウの保護活動に参加した。 3) 希少生物の保護活動や野鳥の巣箱の製作と設置、野生動物の保護と管理に関する講師として活動するなど、環境問題への意識の普及啓発活動を行っている。
新潟県	<small>とうかんし ぜんどうこうかい</small> 東蒲自然同好会	1) 創立以来 53 年間、東蒲原地方の動植物相を調査・記録しながら自然保護活動を実践している。探鳥会や自然観察会を開催し、地元小学校の愛鳥教育にも協力して自然保護思想の普及啓発活動を続けている。 2) 飯豊山塊での鳥類生息調査、日尊の倉山のブナ林保全活動、環境省のレッドリスト準絶滅危惧種に指定されている、キマダラルリツバメの保護活動を続けている。 3) 鳥類や植物に関する資料を新潟県のレッドデータブックに反映し、新潟県委託の鳥獣保護対策調査に協力を続けている。

5. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞 (3 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
大阪府	まつおか みきお 松岡 三紀夫	<ol style="list-style-type: none"> 1) 探鳥会や観察会を通じて鳥類保護思想の普及及び啓発、後進の人材育成に尽力している。 2) 高齢者のための探鳥会を企画・催行し、鳥類保護思想の普及及び啓発を実施した。 3) コロナ禍において、オンライン探鳥会の企画及び講演を行い、鳥類保護思想の普及及び啓発を実施した。
香川県	くぼた ふじお 久保田 富士男	<ol style="list-style-type: none"> 1) 36 年間にわたり香川県傷病鳥獣保護収容者として活動し、傷病野生鳥獣に適切な治療とリハビリを施し、自然界に復帰させる活動を継続して行ってきた。 2) ハヤブサやミサゴなどの大型希少種の保護にも取り組み、個体数の維持に貢献した。 3) 県民からの野鳥保護に関する相談に対して適切な指導・助言を行い、情熱と熱意をもって多年にわたり野生鳥獣保護に尽力している。
沖縄県	きんじょう てるお 金城 輝雄	<ol style="list-style-type: none"> 1) 33 年間にわたり、カンムリワシやカラスバトなど希少種を含む沖縄県内の野生動物の救護活動を実施。治療後の野生動物を可能な限り野生復帰させ、野生復帰が適わなかった個体を終生飼育し、飼育技術や人工繁殖技術の確立と普及に貢献した。 2) 大学等の研究機関と共同で、感染症モニタリングや疾病調査、生態研究などを行い、科学的な知見を深めている。 3) 琉球野生動物救護保全センターを立ち上げ、傷病鳥獣救護、希少野生生物の保全及び研究等を目的として活動している。

6. 環境省自然環境局長賞（4件）

都道府県	被表彰者	功績概要
沖縄県	ひらた かつお 平田 勝男	<ol style="list-style-type: none"> 1) 技術習熟者が少なく、処置に細心の注意を要するカンムリワシを含む野鳥の緊急搬送を積極的に受け入れ、救護にあたっている。 2) カンムリワシやイリオモテヤマネコなど希少野生動物救護個体の受入れを拡充するため、西表動物診療所の設立に尽力した。 3) イリオモテヤマネコへのネコエイズウイルスの感染拡大が危惧されたことから、イエネコの適正飼育を推進した。また竹富町猫飼養条例作成委員会の座長を務めるなど、西表島内のノネコ・ノラネコが確認されていない状況達成に大きく貢献している。
宮城県	せんだいいくえいがくえん 仙台育英学園 こうとうがっこう 高等学校	<ol style="list-style-type: none"> 1) 外国語コースの高校生や留学生が中心となり、「シジュウカラガン」の歴史や現状について地域住民やこどもたち、農家、行政などに普及啓発と情報発信を行い、それらで関わった方たちにシジュウカラガンの認知向上と共存の心を育むことに貢献している。 2) シジュウカラガンの群れの復活が地域にもたらす価値とリスクを踏まえた政策提案を行い、自治体首長に対して直接提案するシンポジウムを企画・実施している。 3) 日本雁を保護する会、東北緑化環境保全株式会社、仙台ロータリークラブなどと協働してシジュウカラガン復活プロジェクトに取り組んでいる。
福岡県	ひびきなだ 響灘ビオトープ あいこうかい 愛好会	<ol style="list-style-type: none"> 1) 北九州市自然環境サポーター受講生を中心としたボランティア団体として、響灘ビオトープの運営をサポートし、その自然環境の維持と管理に貢献している。 2) 響灘ビオトープに生息する鳥類や昆虫類の保全に積極的に関わり、毎月の野鳥観察会を担当し、普及啓発活動に寄与している。 3) 廃棄処分場跡地に自然発生的に出現した自然環境を守ることにより、北九州市の生物多様性の維持向上に貢献している。
沖縄県	こうえきざいだんほうじん 公益財団法人 おきなわ 沖縄こどもの国	<ol style="list-style-type: none"> 1) 1970年の開園以来、地元を中心とした野生生物の保護活動を行い、1985年から2024年3月までにイリオモテヤマネコ、ヤンバルクイナなど傷病鳥獣保護受入件数は4,557件（うち放野1,050件）となっている。 2) 救護個体の展示を通して普及啓発活動を行い、大学等の研究機関と共同で感染症モニタリングや疾病調査、生態研究を実施。沖縄の希少種の生活史解明や繁殖技術の向上に取り組んできた。 3) 開園以来、動物ガイドや印刷物の発行、市民県民向けの公開講座、企画展示・イベントを通して幅広い年齢層に対し、傷病鳥獣や希少種についての講話や普及啓発活動を行い、「愛鳥まつり」などのイベントも継続的に実施している。

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（12件）

◆個人（9件）

都道府県	被表彰者
宮城県	いしかわ せいじ 石川 聖治
福島県	やすはら こういち 安原 光一
群馬県	かなや みちゆき 金谷 道行
埼玉県	ふじい ただし 藤井 忠之
静岡県	やもと おさむ 谷許 修
滋賀県	おおかわ たすく 大川 輔
京都府	いまい けんじ 今井 健二
佐賀県	みやはら あきゆき 宮原 明幸
熊本県	まつだ ふみや 松田 史哉

◆学校（3件）

都道府県	被表彰者
埼玉県	ひがしまつやましりつ さくらやましようがっこう 東松山市立 桜山小学校
愛媛県	いまばりしりつ さくらいちゅうがっこう 今治市立 桜井中学校
鹿児島県	みなみきゅうしゅうしりつ まつがうらしようがっこう 南九州市立 松ヶ浦小学校

8. 環境省自然環境局長感謝状
鳥獣保護管理員等（53件）

都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者
北海道	あべしま ゆずる 阿部島 譲	愛知県	むらまつ かずのり 村松 和憲	高知県	やすおか のりやす 安岡 憲保
北海道	ながはら ひろゆき 長原 廣幸	滋賀県	まつい ただし 松井 正	福岡県	に た こういちろう 二田 公一郎
北海道	ほり のりやす 堀 徳康	京都府	こうの まさゆき 河野 雅之	佐賀県	さ さ き ひでみつ 佐々木 秀光
岩手県	はぎよう ひでお 羽行 英雄	奈良県	しゅどう よしのり 首藤 義典	佐賀県	ひでしま しげる 秀島 茂
岩手県	ほそだ よしあき 細田 義明	奈良県	つじ やすはる 辻 保春	長崎県	いしばし とよき 石橋 豊記
宮城県	すがわら こういち 菅原 耕一	奈良県	はると ながつぐ 春田 長嗣	長崎県	うちだ しょうきち 内田 庄吉
山形県	あべ のりあき 阿部 徳秋	奈良県	ひがし のぶかず 東 信和	長崎県	やまぐち とよふみ 山口 豊文
山形県	おおたき よしはる 大滝 芳春	奈良県	もりした たてお 森下 楯夫	長崎県	よこやま あきら 横山 章
埼玉県	たなか あきら 田中 彰	奈良県	もりもと やすじ 森本 保司	熊本県	さとう としき 佐藤 敏樹
神奈川県	あんどう あきひこ 安藤 彰彦	島根県	うちだ みつる 内田 満	宮崎県	ささやま あきら 笹山 晃
神奈川県	おぼら こうじ 小原 孝二	島根県	はた せいのが 畑 清信	宮崎県	とおめつか みのる 遠目塚 稔
新潟県	さいとう こういち 齋藤 孝一	岡山県	ふじわら まさと 藤原 正人	鹿児島県	うめだ まこと 梅田 允
新潟県	ほしの てつや 星野 哲也	山口県	おおつか しげき 大塚 茂生	鹿児島県	はたなか みちお 畠中 道夫
富山県	たかばたけ あきら 高畑 晃	山口県	かとう しげのり 加藤 重則		
富山県	なかむら ますお 中村 培夫	山口県	はやせ くにお 早瀬 国雄		
山梨県	はだ たけし 羽田 健志	山口県	はらだ ようじろう 原田 陽二郎		
山梨県	ふじもり えいじ 藤森 栄治	香川県	しらかわ さとる 白川 智		
長野県	こだいら えいぞう 小平 榮三	香川県	どい せいぞう 土井 清三		
静岡県	わたなべ しゅうじ 渡辺 修治	香川県	みの かずや 三野 和哉		
愛知県	まるやま やすひろ 丸山 泰裕	高知県	まつおか いさお 松岡 功		